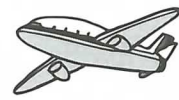


# 特集



## 肌で感じた

## 異文化体験!

### 第7回 中学生海外派遣



町では、21世紀を担う子どもたちに、国際感覚を身につけてもらおうと平成11年から中学生を海外に派遣しています。

今年も8月12日(金)から19日(金)までの8日間、生徒22名がオーストラリアのケアンズに派遣されました。

参加した生徒たちは、「ホームステイ」や「体験学校訪問」を通して外国の文化や歴史、生活習慣などに直接触れ、コミュニケーションの大切さや国際理解のための英語力など貴重な体験をしました。

参加した生徒の皆さんに海外派遣のアンケートをとりましたので、ここで紹介します。

### 参加者

	氏名
本郷中学校	齋藤 哲
	原 大史
	小室慎一郎
	山本 学
	仁平 絵里
	仁平 令子
上三川中学校	北條 隆之
	小林 政義
	奥野 耀亮
	山崎 亮佑
	植木 真美
	豊田 苑子
	仲田 遙
	橋田有希江
	谷田部美鈴
	海老原亜美
明治中学校	奥谷孝太郎
	上野 翔平
	比嘉まどか
	國谷千香子
	齋藤 美沙
	宮国 智衣
団長	森田良司 (明治中学校教頭)
引率	塚本美砂子 (上三川中学校)
事務局	小松 俊雄 (教育委員会)



### 全日程表

	月/日	宿泊地等	スケジュール
1	8/12(金)	上三川町 成田空港	午後2時出発式後成田空港へ 空路、オーストラリア・ケアンズへ (機中泊)
2	8/13(土)	ケアンズ着 (ホームステイ)	ホームステイ・オリエンテーション とホストファミリーとの対面式
3	8/14(日)	ホームステイ	ホストファミリーデー
4	8/15(月)	ホームステイ	体験学校訪問 (ケアンズ・ステイト・ハイ・スクール)
5	8/16(火)	ホームステイ	体験学校訪問 (ケアンズ・ステイト・ハイ・スクール)
6	8/17(水)	ホームステイ	グリーン島研修 お世話になったホストファミリーと サヨナラパーティ
7	8/18(木)	市内ホテル泊	キュランダ村の1日研修
8	8/19(金)	ケアンズ 成田空港 上三川町	空路、ケアンズから成田空港へ バスで成田空港から上三川町へ



ホストファミリーに「お世話になります」

今回の研修にあたってのアンケートは、

- ①一番印象に残っていることは？
- ②この研修で学んだことは何ですか？
- ③今後どう生かしていこうと思いますか？

と3つの質問に対して参加した中学生に回答していただきました。

本郷中学校 齋藤 哲さん  
 ①ホストファミリーと一緒に海に行ったこと。  
 ・学校で友達ができたこと。  
 ・さよならパーティ。

- ・グリーン島の美しさ。
- ②現地の人の心の広さ。
- ・オーストラリアの大きさ美しさ。
- ・人とのふれあいや親切な心遣いの大切さ。
- ③周囲の人とのつながり。相手を思いやって生活したい。
- ・感謝する心を忘れずに行動する。
- ・責任ある行動と言動。
- ・自分と他人を大切にすること。

本郷中学校 原 大史さん  
 ①ホストファミリーとのふれあい。

- ・現地の人は積極的に話しかけてくれたのであまり気にしないで仲良くなれました。
- ②人に対する優しさや人情です。
- ・現地の人は、仲良く話しかけてくれた。差別的ではないこと。これから外国の人にも優しくできる人になりたい。
- ③将来は農業をしたいので、オーストラリアで学んだ、優しさ、積極性を活かし、いろいろな国の農業を見て勉強したい。

本郷中学校 小室慎一郎さん  
 ①グリーン島の海。  
 ②外国の言葉や文化。

- ③将来の職業や英語の授業。
- 本郷中学校 山本 学さん  
 ①ホストファミリーに日本の文化を伝えたこと。
- ②コミュニケーションをとることの大切さ。
- ・笑顔で挨拶をすること。
- ・自然の大切さ。
- ③自然を大切にすること。
- ・相手に自分の意思をはっきりと伝える。
- ・明るく挨拶をする。

本郷中学校 仁平 絵里さん  
 ①ホストファミリーデー初日は

- ・余り話ができませんでした。2日目からは勇気を出してがんばって話ができたと。
- ・ケアンズハイスクールの生徒たちと仲良くなったこと。
- ②人の温かさ。(どこへ行っても誰もが挨拶してくれる)自然。(自然をみんなで大切にしていた)
- ③挨拶をすること。(現地の人のように挨拶ができるようにしたい)
- ・緑をいつでも大切にしたい。
- ・勇気を持ってなんでも積極的にやろうと思います。

上三川中学校 北條 隆之さん  
 ①ホームステイ先の人たちと会話をしてみると、単語はわかるけど全体的な意味がわかりませんでした。でもジェスチャーをして気持ちを伝えると通じたこと。
- ②英語が話せなくても、話をしようという気持ちになればだんだん相手の言葉の意味がわかってくるということ。
- ③積極的にみんなと話し、何事にも積極的に行動をしたいです。

- 本郷中学校 仁平 令子さん  
 ①ホストファミリーや学校の人たちがみんなフレンドリーで温かかった。
- ・海がとても綺麗で、珊瑚や魚が砂浜から近いところにたくさんいた。
- ②何事も自分から行動を起こしたほうがいいこと。
- ・初対面の人でも「笑顔」で接する。
- ・どんなことでも最初にダメだと決めつけないでチャレンジする。
- ③できるだけいろいろなことに自分から挑戦していきたい。
- ・どんなときでも笑顔を忘れないうい。
- ・初対面の人にも壁を作らずフレンドリーに接する。

上三川中学校 小林 政義さん

- ①現地の食生活の偏り。
- ・洗濯の回数が少ないこと。
- ・食べ物の量が多いこと。
- ②オーストラリアの食文化・生活。
- ③規則を守ること。
- ・日本の文化も大切にすること。

上三川中学校 奥野 耀亮さん  
 ①ホームステイ先の子とゲームをして仲良くなったこと。
- ②現地の人はみんな差別をしないということを学んだ。
- ③人権問題がどこかで起こったら止めさせたい。
- ・町や日本のことを考えるときに、オーストラリアと比べて



期待と不安を胸に…ホストファミリー宅へ

よりよくなりました。

上三川中学校 山崎 亮佑さん  
 ①ホストファミリーに連れて行ってもらった近くの山から見た海岸や、街の様子がとてもきれいで忘れられない。

②言葉は通じなくても、心は誰とでも通じること。  
 ③もっとたくさんのお国々へ行って、今回のオーストラリアを含めてよいところを町や県、国にプラスにしていきたい。

上三川中学校 植木 真美さん  
 ①みんな笑顔で迎えてくれたこと。

②正しい英語。  
 ・夕食が魚のみだったこと。  
 ・ケアンズハイスクールでのソラン節。



ホストファミリーとお別れパーティで

・現地の人々のやさしさと思いやり。  
 ・人と人のかかわり。  
 ③英語をもっと勉強すること。  
 ・やさしさ、思いやりの気持ちをもっと持つこと。

上三川中学校 豊田 苑子さん  
 ①別れのとき、ホストファミリーや学校の生徒と抱き合ったこと。  
 ②周りの人との接し方や心の持ち方。

③ホームステイ成功によってつけた自信を忘れないで何事にも積極的に取り組みたい。

上三川中学校 仲田 遙さん  
 ①ホストファミリーとの会話で英語が通じてうれしかったこと。

②オーストラリアの文化。(シヤワーは朝浴びる・学校は中学校、高校が一緒・家の中で靴を履く・外で裸足の人もい

る・肉料理が多い)  
 ・言葉が通じなくても、心で通じ合い、お互いに分かり合えるということ。

③英語の授業などで、オーストラリアで初めて知った英語の表現方法などを使えるようにしたい。

①ホームステイの家では土足で玄関が無かったこと。  
 ・3食バーベキューで、さすがにつらかった。  
 ・学校で踊ったソラン節。  
 ・ケアンズは冬で寒かった。

上三川中学校 橋田有希江さん  
 ①ホームステイの家では土足で

③英語をもっと勉強したい。  
 ・自然を大切にしていきたい。  
 ・人のかかわりを大切にしたい。

い。

上三川中学校 谷田部美鈴さん  
 ①ホストファミリーの子どもとたくさん遊べたこと。

②言葉があまり通じなくてもなんとかなる。  
 ・学校(文化)が日本とかなり違う。(生徒が教室へ移動する。ピアスなどをつけているなど)  
 ③また勉強して次の海外へ行くときのいい経験としておきたいです。

上三川中学校 海老原亜美さん  
 ①ケアンズハイスクールに行ったときの授業の様子。  
 ②オーストラリアは日本に比べてゴミが少なく、街にはゴミ箱が置いてあって街がすごく



一生懸命練習したハンドベルを披露

きれいだっただ。  
 ・トイレトペーパーが再生紙で作られていた。  
 ③自分たちの街にもゴミを捨てる場所、ゴミ箱を置いたほうが良いと思う。



ケアンズステイトハイスクールでのティータイム

明治中学校 奥谷孝太郎さん  
 ①日本の文化や習慣の違いに驚きました。

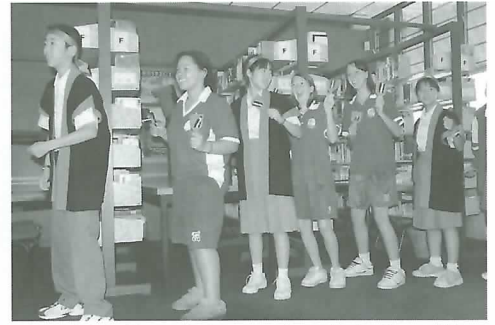
②言葉や習慣の違いを越え、同じ人間として心を通わせることが大切だと思いました。

③海外の人と接するときに限らず、いろいろな場所で見られる挨拶や、積極的な行動を心がけていこうと思いました。

**明治中学校 上野 翔平さん**

①短い間で、ホームステイ先の家族と楽しい思い出をたくさんつくることができたこと。  
 ②7日間のオーストラリア生活で一生の思い出に残る貴重な体験をすることができたこと。  
 ・オーストラリアの美しい自然をこの目にとどめることができたこと。  
 ・アボリジニーの人々の生活を少しでも知ることができたこと。

②ホームステイ先と学校で、日本とオーストラリアの生活スタイルの違いを学ぶことができた。  
 ・日本では学べない本場の英語を体験して学ぶことができた。



上三川名物？よさこいをみんなと一緒に

・今回の派遣が自分の英語に対する意識を高めさせてくれたこと。  
 ③この素晴らしい体験でオーストラリアについて、少し知ることができたので、これからもっとこの国の文化・生活・自然について学んでいこうと思います。  
 ・この体験をきっかけとして、国際的な感覚を築きあげた。



ロープウェイから世界自然遺産の熱帯雨林を観察

**明治中学校 比嘉まどかさん**

①ケアンズハイスクールです。(みんなフレンドリー・生徒たちとすぐ仲良くなれた・演劇や日本語の授業もあり面白かった・校風がとても自由な感じで学校とは思えませんでした)

②挨拶がいかに大切かということ。(初めて会った人にとってもフレンドリーに話しかけてくれたりして、笑顔もとっても素敵で良かったです)  
 ③町を笑顔あふれる町にするための第一歩として「あいさつ」を積極的に行っていきたいです。

**明治中学校 國谷千香子さん**

①学校に行つて生徒たちと仲良くなれたこと。(2日間一緒にいるだけでも友達になれたことがうれしかった。)

②たとえ言葉が通じなくても、伝えようと思っていれば絶対に伝わることに引かずに、自らどんどん話しかけたほうが良いということ。

③オーストラリアで明るく挨拶していたことを、日本でも同じように挨拶できるようにしていきたい。

・今までよりも積極的に、自分からいろいろなものに挑戦したい。

**明治中学校 齋藤 美沙さん**

①ホストファミリーと過ごしてオーストラリアの生活をたくさん知ったこと。(言葉がわからなくて困っていてもジェスチャーでコミュニケーションがとれたこと)



先住民アボリジニーの文化を学びました

・スチヤーしてくれたり、紙に書いてくれたりしてくれてすごく助かった)

・学校訪問では、日本と違うところがたくさんあり、みんながフレンドリーに声をかけてくれたこと。

②言葉は通じなくても、ちょっとした遊びや短い会話で仲良くなれるんだと思った。

・分からないことはどんどん積極的に聞くことが大切だと思った。

・日本とオーストラリアの生活の違いや文化の違いをたくさん学んだ。

③もっと積極的に挨拶をして、もっと地域の人々が仲良くなれるようにしたい。

・日本以外の国の文化にも関心を持った。

**明治中学校 宮国 智衣さん**

①ホームステイ(子どもたちと遊んだこと・海でご飯を食べたこと・お母さんやおばあちゃんと一緒にショッピングに行ったこと)  
 ・学校訪問。(学校の人と一緒に行った授業見学・学校の生徒に教えてもらいながら料理を作ったとき)

②何事も積極的に話しかけたり、行動したりする。  
 ・生の英語。  
 ・友達と協力すること。  
 ・英語を積極的に使うこと。  
 ③これを機にもっと英語を勉強する。

・何事も積極的に行動する。  
 ・友達と協力する。  
 ・挨拶をしっかりとする。



いざキュランダ村へ出発



記念樹を植えました。数年後にはどのくらいに…



ケアンズステイトハイスクールの皆さんにお礼の挨拶

## 報告会

8月26日(金)に報告会が行われました。貴重な体験をした中学生たちは、「言葉がなかなか通じなかった。」「食べ物



活発な意見が出た報告会

が全然違う。」など食文化や生活環境の違いに悪戦苦闘していたようです。

しかし、体験学校訪問でお世話になったケアンズステイトハイスクールで「ハンドベルとアルトリコーダーの島歌」や「よさこいかみのかわ」を披露し、音楽を通じてケアンズの学生から喝采を受けたそうです。

ホームステイ先では、「かんぴょうのみそ汁」を作った生徒たちや、書道や茶道を紹介した生徒たちもいました。お世話になったホストファミリーと別れの際には、感極まった場面もあっ

たそうです。

参加した生徒からは、「この研修にかかわってくれた皆さんに感謝します。」と報告がありました。

これからの課題として報告会の中では、

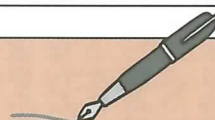
- ①外国の文化から学び、よいところは伝えていくこと
- ②英語の勉強をし、英語力を高めていくこと
- ③コミュニケーション力をつけること
- ④日本の文化を見直すこと

と課題点があげられました。これらは国際人に求められているものでありますが、町民の皆さんにも共通する部分が多くあります。

最後に、派遣された中学生たちは、「誰からでも笑顔であいさつをされた。」と話していました。篠原教育長からは「この研修の貴重な体験を活かして、地域の皆さんにあいさつを心がけ、『あいさつ日本一』の小中学校にしていきたいと思います。」と締めくくりの言葉をいただきました。

## 多くのことを学んだケアンズ

団長 森田良司



グリーン島でみんなと一緒に…

上三川町第7回中学生海外派遣事業。町内3中学校、22名の生徒により「健康、安全」を第一として派遣先、ケアンズでの所期の目的を達成して帰町することができました。今回の派遣事業を支えてくださった多くの皆さんに団員（生徒）たちと共に感謝申し上げます。

ホームステイや訪問校であるケアンズステイトハイスクール（中・高一貫校）の中学生とペアを組んでの授業への参加、交歓会、世界遺産のグレートバリアリーフや熱帯雨林地帯の見学等ケアンズでの7日間、団員たちは積極的に活動をしてきました。成長過程の中学生にとっては鮮烈で学ぶことの多い7日間でした。

今回の派遣は、彼らにとって将来への大きな財産となったことと思います。そして、上三川町を受け継いでいく素晴らしい町民として成長してくれるのではないかと思います。